

(様式2)

「第Ⅲ期鹿嶋市教育振興基本計画」(案)に対するご意見の概要とそれに対する鹿嶋市の考え方

	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	まず持って教育委員会の守備範囲の広さに、改めて驚きました。「教育」は門外漢ですが、素人の目で本計画に目を通させていただきました。	教育委員会は、学校教育だけでなく、幼児期から高齢者の皆様の学びに関わる幅広い分野を担当しています。本計画を通じて、教育委員会の取組について、ご理解を深めていただければ幸いです。
2	成果と課題「(9)文化財の保全と歴史文化の継承」について一言を。どの項目も重要なのですが、の記述どおり本市には「鹿嶋だから」ともいべき歴史文化があります。「触れる機会が減少してい」というのはとても残念なことです。「鹿島神宮境内附郡家跡」の史跡公園としての整備が進まず、歴史資料館の設置も見送りとなるなど、財政面を含めた種々の制約があるにしても残念でなりません。特に記述にもあるように貴重な資料の散逸や劣化が進めば、将来世代に残すべき財産を失ってしまうこととなります。厳しい状況下にあるのですが、「主要施策2」の「2-2-1」にいう「郷土資料は、地域の歩みを記録し、文化を後世に伝える貴重な資源です。これらの資料を計画的に収集・保存する」との記述に期待します。最低限こうした資料の散逸などが無いよう努めていただきたく願います。併せて、若い世代にこの「鹿嶋だから」ともいべき歴史文化を継承していただける意識を持ってほしいと願います。	本市には鹿嶋だけにしかない貴重な歴史資産があり、これらを適切に管理し、次世代に確実に継承していくことは、教育委員会の重要な責務です。 史跡公園整備や歴史資料館設置については、様々な理由により当初の計画どおりには進められない状況となっていますが、貴重な資料の散逸や劣化を防ぐことは課題と認識しています。物理的な施設整備が困難な状況を踏まえ、デジタル技術を活用した資料の保存・公開を進めることで、より多くの方々に鹿嶋の歴史に触れていただける環境づくりを目指してまいります。 子どもたちが鹿嶋の歴史を知り、郷土を大切に思う気持ちが持てるよう、学校教育と社会教育の両面から、鹿嶋の歴史に触れる機会を提供できるよう取り組んでまいります。
3	第Ⅲ期計画の施策を、「基本方針」「施策」「具体的事業」の三層構造で整理し、図表化していることは、分かりやすいと思います。	ご意見ありがとうございます。
4	「GIGAスクール構想」や「非認知能力」「教育DX(デジタルトランスフォーメーション)」「メンター制度」など専門的な用語について、巻末の「資料」に「用語説明」を加えたらいかがでしょうか。	ご指摘のとおり、専門的な用語については市民の皆様に分かりやすくお伝えすることが重要と考えますので、用語の説明を加えます。
5	「4 具体的事業」に関して。当初は、どの項目も「なるほど」と思われる施策が列記されており、素人が見ても非の打ち所がないように感じました。反面、温かみや熱意といったものや「これぞ鹿嶋」というような本市としての特徴が少ないこともまた感じました。し	計画を丁寧にお読みいただきありがとうございます。 教育の普遍的な役割を果たしながらも、特色ある教育を推進しています。一つは、鹿島神宮や郡家跡をはじめとした歴史文化、カシマスタジアムをはじめとするスポーツ環境など、鹿嶋市

	かし読み進めるに従い、たとえば「鹿嶋らしい特色ある取り組みを積極的に支援します」と、また「鹿嶋市ならではの学び」などもあり、鹿嶋市の教育に取り組む姿勢を再認識しました。	にしかない資源を活かした教育です。もう一つは、小中一貫教育の推進、生成 AI の導入など、県内でもいち早く取り組んでいます。今後も、鹿嶋の特色をいかした教育や先進的な取組を推進してまいります。
6	「1-1-3」の「ICT機器を単なる道具として使うのではなく、学びの質を高める教育活動の中心に位置づけることをめざします」は、いい表現です。往々にして手段と目的を履き違える例が散見されますが、真に子どもたちの「学びの質を高める」という目的に有効活用しうるものであってほしいと思います。	ご意見ありがとうございます。 ICT機器は学校で活用されているところですが、「使うこと」が目的化しないよう、教職員の研修を充実させ、一人ひとりの子どもに応じた学びと協働的な学びに取り組んでまいります。
7	「1-1-4」SDGsを意識した教育を推進することは素晴らしいことです。しかし、せっかくですから17の目標のひとつでも例示して、具体に実践していく姿勢を示したらいかがでしょうか。たとえば、目標の14「海の豊かさを守ろう」を掲げ、海岸で廃プラスチックごみの回収をするなどと。	ご提案ありがとうございます。 SDGs教育については、各学校がそれぞれの地域特性に応じて、また児童生徒自ら課題を見つけ考えながら、多様な実践を行っております。一つの例示に留まらず、各学校の創意工夫と児童生徒の主体的な取組を尊重したいと考えます。
8	「主要施策3」に関して。子どもたちの学力向上が重要であると同じくらいに重要なのが、「豊かな心を育み、人間性・社会性を涵養する教育の推進」ではないでしょうか。「1-3-1」から「1-3-3」まではまったくそのとおりなのですが、どこかしら借り物の言葉が散りばめられている感じがしなくもありません。朝、上級生に引率されて登校する小学生の列に遭遇することがありますが、こちらから「おはよう」と声掛けしても、無反応な子が少なからずいます。もちろん元気な声で「おはようございます」と返してくれる子も多いのですが、挨拶できない子らが気にかかってなりません。中学生にも同様なことが言えます。社会人になっても挨拶できない、電話に出ることもできない若者が多くなっていると報じられています。「鹿嶋出身の若者は、他とは違っていいね」と言われるような教育を推進していただけると、市民の1人として誇りに思います。	ご意見ありがとうございます。 挨拶をはじめとする基本的な生活習慣やコミュニケーション能力の育成は、豊かな心を育む上で重要です。「心」や「人間性」「社会性」といったものは数値で測れるものではなく、日々の教育活動の積み重ねの中で、時間をかけて育まれていくもののため、抽象的な表現にならざるを得ない面があります。 現在、地域の方たちと朝のあいさつ運動を行ったり、人権教育や道徳科、小中一貫教育などを通して豊かな心を育む取組をしています。今後も、学校・家庭・地域が連携し、あいさつ運動や地域との交流活動などを通じて、社会性や人間性を育む教育を推進してまいります。
9	「2-1-1」は我がこととして読ませてもらいました。急速な社会変化が起こり、情報化社会についていけない後期高齢者である私がいいます。幸いに鹿嶋市ではまだ、大きな変化	ご意見ありがとうございます。 社会全体が急激な情報化となっている中で、オンライン予約など便利になる一方で、「インターネット」「デジタル」などと聞いただけで不安

	<p>はないようですが、このまま推移すると早晚、買い物ができない高齢者が発生することでしょう。現金が使えない、店員がない、支払いの操作ができない等々。高齢者に対する「学習機会と学習環境の充実」を期待します。</p>	<p>を抱える方もいることと思います。そのため、デジタルスキルを習得できる学習機会を設けることで、地域課題の解決の一助となり、さらには、地域の持続的な発展につながることをめざします。</p>
10	<p>「2-1-2」で思ったことです。「学習で得た知識や経験」ではなく、ここでの内容とは異なるのですが、私が高齢者として若者に伝えられることが戦争体験です。私ごとですが、終戦時が満2歳ですから戦地での経験は無論のこと、母の背で味わった空襲の実体験も後に親などから聞き及んだ内容が主となりますが、機会があれば子どもたちに伝えることができたらと思っています。</p>	<p>戦争体験を次世代に継承することは、平和の尊さを学び、二度と戦争を繰り返さないために重要です。ご講話等の機会については、本市には学校支援ボランティア制度があります。まずは学校支援ボランティアに登録していただき、各学校のカリキュラムや教育活動の中でご協力をお願いしたい場合に、学校からご連絡させていただくという流れとなります。ご意見ありがとうございます。</p>
11	<p>「主要施策2 知的基盤としての図書館機能の強化と読書支援」は、すばらしい取り組みだと思います。上記 [6] で「『これぞ鹿嶋』という特徴が少ない」と触れましたが、この項での施策は鹿嶋独自の「らしさ」を感じ、大いに期待いたします。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 図書館は市民の皆様の学びと知的基盤として、今後とも特色ある取組を進めてまいります。</p>
12	<p>上記 [3] でも触れていますが、「主要施策3 郷土の歴史・文化にふれる学びと保存・継承の推進」に期待します。できれば市内に「鹿嶋の歴史資料館」を設置し、学校教育の場として活用する他、一般市民や観光客など外来者も気楽に立ち寄れる場として活用できるようにしたいものです。欲を言えば、資料を展示し、閲覧できるだけでなく、コーヒーや紅茶を啜りながら、来館者同士や学芸員も含めて、鹿嶋の歴史や文化を語る場であってほしいとも思います。夢物語でしょうが、願望を…。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 歴史資料館については、様々な理由により見直しを行った経緯があり、歴史資料については、デジタルでの公開をめざす方向としています。</p>
13	<p>「主要施策4 誰もが参加できるスポーツ活動と地域スポーツを支える人材の育成」に同感です。「鹿嶋市の特色であるサッカーをはじめ…」との記述もありますが、そのとおりでしょう。全国の中小都市で、プロサッカーのトップチームが本拠地としている都市は数少ないのではないのでしょうか。本市にとって貴重な資源でもあるアントラーズを活用しない手はありません。アントラーズではすでに選手が、ホーム市の学校を巡るなど、さまざまな取り組みで地域貢献していますが、今後ともさらに相互に協力しつつ、なお一層</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 鹿島アントラーズは本市の誇りであり、現在も選手による学校訪問など様々な連携を行っております。今後も相互協力を深めてまいりたいと考えます。</p>

	<p>の協働関係が築けられたらと願います。個人的な願望ですが、アントラーズのトップチームやユースチームにも、鹿島学園高校のサッカーチームにも、鹿嶋市出身の選手が常に複数人いるという状態になってほしいと思っています。</p>	
14	<p>「主要施策5 文化芸術に親しみ、表現できる環境の充実」に関連して一言だけ。常設の映画館が皆無というのが残念でなりません。せめて神栖と鉾田両市を含む3市で1館はほしいものです。本計画とは直接の関わりのない夢物語を述べてしまいました。ご許容を…。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 映画館は、民間事業者が建設・運営するものが主であり、インターネット環境の充実や消費者意識の変化などからも、建設に要する多額の費用を賄うだけの集客力があるかなど、民間事業者においても様々な要件がポイントとなるものと判断しております。 市内施設で子ども向け映画を上映したこともありますので、既存施設を活用し、市民が気軽に文化や芸術に親しめる事業の実施や学校における音楽、演劇など多様な文化芸術に触れる機会を提供していきたいと考えております。</p>
15	<p>「2-8-2 子ども・若者の地域参加と人材育成の推進」に関連して一言を。全国で消防団の存続に苦勞していると報じられています。鹿嶋市の実情がどうなのか分かりませんが、積極的に活動しているようには見受けられません。そこで提案なのですが、中高生に参加してもらう措置はとれないものでしょうか。もちろん危険を伴う活動であり、最前線でのというのは困難でしょう。しかし後方の支援業務ならば可能なのではないのでしょうか。生徒にとっても地域を知り、大人と共に究極の社会貢献活動をする事で学べることも多いと思われます。</p>	<p>ご提案の中高生による消防団への参加についてですが、生徒などが消防団活動に参加することは全国的にも広がっており、本市においても、既に複数の学校等で幼年消防隊や少年消防クラブが消防・防災について学ぶ活動を行っております。 しかしながら、火災現場での消火活動については、後方支援であってもその先に人命や財産が関わっていること、子どもたちまたは保護者がいることでかえって消火活動に支障をきたす恐れや二次災害に巻き込まれる可能性もあることから未成年者を消火活動に参加させることは考えておりません。 生徒には、防火・防災について学んでもらうことで、周囲の大人たちの意識も高めていきたいと考えておりますので、引き続き防火・防災について学校等で学習し、各地区の防災訓練への参加など呼びかけてまいります。</p>
16	<p>「3-1-2」の6行目「スポーツ施設についても同様に、長寿命化を念頭に計画的な維持管理を合わせて、施設の再編や複合化を検討しながら…」ですが、「…を合わせて」の「を」は「に」の誤りでは…。</p>	<p>ご指摘のとおり、助詞の使い方が間違っているため、修正します。 修正後) スポーツ施設についても同様に、長寿命化を念頭に計画的な維持管理と合わせ、施設の再編や複合化を検討しながら、既存施設を有効活用していきます。</p>
17	<p>「主要施策3 教職員の資質向上と業務改善の両立」はとても重要なのではないのでしょうか。頻りに報道される課題でもありますが、</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり、教職員が心身ともに健康で、子どもたちと向き合う時間を十分に確保する</p>

	<p>教師に余裕がなければ良い教育がなされるはずがありません。教師は事務屋でもありません。校務は事務職員などに委ねたいものですが、市単独では財政面などから制約があることでしょう。そうした状況下でも可能な限り、「3-3-2」の記述通りに取り組みを進めていただきたいものです。</p>	<p>ことは、教育の質を高める上で重要です。本市としても積極的に取り組むべき課題と認識しております。</p>
18	<p>「3-4-1」の「いじめ」について思うことを。記述されていることも重要なことなのですが、根本に課題があるように思われてなりません。学校現場以外でも、たとえば育児過程での家庭環境、家族内での関係、住んでいる地域環境、目にするアニメやネット情報等々、まさに複合的な原因が潜んでいるのではないかと思われれます。多忙な教師がその原因まで遡って児童生徒を指導することは難しいことでしょう。「関係機関が連携し」とありますが、県や近隣市などと連携して常駐の専門家や専従者を配置し、速やかな対応をとることはできないものでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 いじめの背景には複合的な要因があり、学校だけの対応に留まらないケースがあります。専門家の常駐配置は、人材確保や財政面から困難と考えておりますので、関係機関との連携強化など、現在の体制で、迅速かつ適切な対応に努めてまいります。</p>
19	<p>計画の推進「(5) 教育行政運営方針の策定と教育行政評価」はすばらしい取り組みです。特に「評価結果については、市議会に提出するとともに、市民に公表します」は、価値ある取り組みです。ともすれば内部だけに留め、公表したくない心理が働くことも少なくありません。たとえ公表しにくい内容であっても隠さないことが重要でしょう。隠し事のない鹿嶋市の教育環境であり続けてほしいものです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 評価結果については、法律に基づき、報告書にまとめ、議会に提出するとともにホームページで公表しています。今後も、開かれた教育行政を推進してまいります。</p>
20	<p>「指標と目標」は、[2]で上述しましたが高く評価できます。ぜひとも「～点検・検証を行い、必要に応じて取組内容の改善や重点化につなげていきます」との姿勢を貫いてほしいと願います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 指標と目標を数値で設定し、定期的に点検・検証を行うことは、実効性のある計画推進に不可欠です。PDCAサイクルを確実にを行い、教育の質の向上に取り組んでまいります。</p>
21	<p>最後に、「主体的に学び 人とつながり 未来をひらく 鹿嶋っ子」の基本理念のもと、4つの基本方針が実現に向かって着実に進展するを期待してやみません。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 教育大綱の基本理念の実現に向けて、施策を着実に推進してまいります。地域の皆様とともに、鹿嶋の子どもたちの未来を創り、すべての市民が生涯にわたって学び続けることができる環境づくりに取り組んでまいります。</p>

修正した内容（※修正した場合のみ）

	修正前	修正後
1	幅広く「成果と課題」が記述されています。そのうち、成果については当然の如く「～してきました」「取り組みました」「整えてきました」などと過去形で記されています。「なるほど」などと納得や理解しつつ読ませていただきましたが、どうも表現が抽象的に感じられてなりません。ここに成果を示す具体的な数値を併記することができないものでしょうか。より理解が進むと思われます。	ご意見を踏まえ、可能な範囲で成果の数値を追記します。
2	「主要施策2 地域と連携した特色ある学校づくりの推進」で感じたことを。こうした取り組みを進めていくことは、記述されていること以外に、モンスターペアレントを生むことへの防波堤になるのではないのでしょうか。また、「3-2-2」の「学校規模の適正化は単なる統廃合ではなく、『児童生徒にとってよりよい学びの場を確保するための施策』であり、教育の質の向上と地域の未来を見据えた基盤づくりとして進めていきます」は、すばらしい取り組みだと思えます。	ご意見ありがとうございます。 地域と学校が連携し、相互理解を深めることは、保護者と学校の信頼関係を構築する上でも重要な取組と考えます。 また、学校規模適正化は、「児童生徒にとってよりよい学びの場を確保するための施策」として位置づけております。ご意見の中で引用いただいた「教育の質の向上と地域の未来を見据えた基盤づくりとして進めていきます」という表現につきましては、計画案を再検討した結果、本市の学校規模の適正化の考え方を適切に表現できていないと判断いたしましたので、文案を修正させていただきます。 修正後) 学校規模の適正化は単なる統廃合ではなく、「児童生徒にとってよりよい学びの場を確保するための施策」であり、教育の質の向上と児童生徒の教育条件の改善を中心とし、 <u>地域の意見を聞きながら進めていきます。</u>